

町長の所信表明は町広報1月25日号をご覧ください

# 町長の所信表明に対する代表質問

12月16日

※代表質問は、委員会を代表する議員が行政の重要課題について執行部に質問する場です。

## 文教総務委員会



代表質問者  
水谷 幸乃

### 湯沢高原ロープウェイ

Q 湯沢高原ロープウェイの譲渡の現状は。

A 運営事業社の日本ケープル株式会社と協議を継続中。譲渡の方向性で大筋合意済み。令和14年6月1日の譲渡を目標としている。



現在は待機児童ゼロ。

Q 移転による放課後児童クラブの受け入れ体制の具体的な拡充内容は。

A 受け入れ人数40名から80名へ倍増。職員も2名から4名へ増員。今後定員が超えても実際の平均利用人数を考慮し、特別な理由がない限り希望者全員の受け入れを目指す。



### 放課後児童クラブ

Q 待機児童ゼロを目指しとあるが現在の待機児童の有無は。

A 年度当初に5年生6名の受け入れを一時保留としたがその後解消。

### 財政運営指針

Q 今後どのような基準をもとに公共施設を重点的に見直ししていく予定か。

A 公共施設のあり方アンケートの結果、可能な限り施設の存続を望む声が多数であった。この結果を踏まえ現行施設の継続を第一目標として取り組む。

## 生活福祉常任委員会



代表質問者  
宮田 真理子

### 介護予防事業の継続

Q 介護予防事業を継続するとある。新たな具体策はないのか。高齢化率40%という状況において、現在の13%という低い要介護認定率を今後維持していくための具体策は何か。

Q 介護予防事業を継続するとある。新たな具体策はないのか。高齢化率40%という状況において、現在の13%という低い要介護認定率を今後維持していくための具体策は何か。

### やさしい町づくり

Q 高齢者が健康で安心して生活できる「やさしい町づくり」とは何か。町の立場と高齢者の立場では見方が異なると思われるがどうか。

A 町は、持続可能な福祉体制の構築を目指す。高齢者は、地域の一員として経験を活かし尊厳を保ちながら暮らすことである。

